

希望

令和6年11月29日(金)第9号
多治見市立笠原中学校 学校だより
多治見市笠原町 2455-12 TEL43-4165

校庭のメタセコイアが鮮やかな「れんが」色に染まり、長い残暑から一気に秋も深まり、冬の訪れを感じる頃となりました。登校する子どもたちの服装も徐々にマフラーや手袋を着用する生徒が見られるようになってきました。

11月25日(月)からは三者懇談も始まりました。3年生は、進路実現に向けていよいよ歩み始めます。



『切磋琢磨 ～ 全員で協力し笑顔でやりきり魅了される合唱を ～』

校長 加藤智夫

11月21日(木)、笠原中学校の体育館に於いて、笠原中学校合唱発表会を開催しました。当日は、たいへん多くの保護者の方々に加え、笠原小学校の5・6年生にも発表会を参観してもらいました。



3A 『結』

1年生から3年生までどの学級も、合唱を通して取り組んできた学級の成長が感じられた発表会となり、これまでの生徒たちの頑張りに本当に感心しました。

特に、学級の合唱の取り組みを中心となって進めてくれた仲間、そして、指揮者・伴奏者には、学級のみならずしかできない合唱を創り上げようとする想いがありました。その生徒たちが行ってきたであろう陰での地道な努力や苦勞と、曲に込められた想いとが重なり、聴いているすべての人の心に響く合唱となりました。

加えて、3年生には、先輩から引き継いだ笠中の伝統をさらに高め、後輩だけでなく小学生にも伝えようとする責任感もあったことでしょう。

3年生の歌声から、笠中の伝統である『はあとふる合唱』が今後もきっと受け継がれていくのだろうと強く感じました。



3B 『友～旅立ちの時～』

◇人権講話『インターネットによる人権侵害 ～突然、僕は殺人犯にされた～』



タレントのスマイリー・キクチさんに来ていただき、ネット上の誹謗中傷やSNSの正しい使い方をテーマにした人権講演会を11月6日(水)に行いました。

スマイリー・キクチさんは、漫才コンビ「ナイトシフト」として芸能界デビュー後、1999年に身に覚えのない事件の殺人犯だとネット上に書き込まれ、以降、言われなき誹謗・中傷を受けた経験をされた方です。

現在は、インターネット・ヒューマンライツ協会の代表を務め、自身の体験をもとに、各地で講演活動を行っていらっしゃいます。



・言葉は使い方によって危険なものにも、人を助けたり救ったりするものにもなることがわかりました。インターネット上で被害者や加害者にならないためにも、今の自分の使い方を見直して、両親とルールや使い方を確認したいです。そして、これからは自分の言葉に責任をもって生活していきたいです。(3年)

・「ネットに責任はなく、利用する人の使い方の問題だ。」ということに、現在のネットユーザーの中に、気付いている人がどれくらいいるのだろう。言葉は刃物にもなる。言葉を正しく活用できるようにしなければならぬと思いました。(3年)

・今の時代はデジタル化など、切っても切り離せない関係になってしまっているからこそ、自分たちはリテラシーやデリカシーを学ぶことが大切だと思った。また、誰かを不幸にすることより、誰かを幸せにそして、自分自身も幸せになれるよう、投稿も一度立ち止まって、よく考え、自分を加害者や被害者にしないよう気を付けていきたい。(2年)

・言葉は、刃物のように人を傷つけてしまったり、その反対に、人を喜ばせたりすることのできるものなので、よく考えて言葉を使っていきたいと思った。また、ネット上の情報は、すぐに信じることをしないで、「止まる」「考える」を大切にしていきたいと思った。人の足を引っ張る人ではなく、人の手を引っ張り上げられる人になりたい。(1年)

<12, 1月の主な行事予定>

日	曜	【12月】 行事予定	下校時刻
1	日		/
2	月	三者懇談⑥	14:55
3	火		16:00
4	水	SC 来校	15:20
5	木		16:00
6	金		15:20
7	土	一貫教育の日(月曜日課)	14:45
8	日		/
9	月	振替休業日	/
10	火	3年いのちの授業 13:35	16:00
11	水	2年多治見市合唱発表会(2年のみ弁当)	15:20
12	木		16:00
13	金	不審者対応訓練	16:15
14	土		/
15	日		/
16	月	3B 保育実習	15:20
17	火	3A 保育実習 2年職業講話	16:00
18	水	SC 来校 全校研究会(国語)	15:20
19	木		16:00
20	金	委員会	16:15
21	土		/
22	日		/
23	月		15:20
24	火	大掃除	16:00
25	水	教科係会	15:50
26	木	冬休み前集会	14:45
27	金	冬季休業日開始(6日まで) 連合生徒会 9:00	/
28	土		/
29	日		/
30	月	学校閉校日	/
31	火	学校閉校日	/

日	曜	【1月】 行事予定	下校時刻
1	水	元日	/
2	木	学校閉校日	/
3	金	学校閉校日	/
4	土		/
5	日		/
6	月	冬休み終了	/
7	火	冬休み明け集会	15:00
8	水	SC 来校	15:20
9	木	3年後期期末テスト	13:40
10	金	3年後期期末テスト	16:15
11	土		/
12	日		/
13	月	成人の日	/
14	火		16:00
15	水		15:20
16	木		16:00
17	金	英検 IBA	16:15
18	土		/
19	日		/
20	月	中学校入学保護者説明会 13:40	15:20
21	火	学校保健安全委員会	16:00
22	水		15:20
23	木	第2回学校保健安全委員会 13:30	16:00
24	金	文化ホール出前授業 9:30 教科係会	15:50
25	土		/
26	日		/
27	月		15:20
28	火		16:00
29	水	部活動	16:15
30	木		16:00
31	金	市教研(英語1A)公開	13:25

「できない」 そうではなくて 「にがて」なんだよ

親育ち4363たじみプラン 事務局

例えば、「一定の時間、席に着いて話を聞く」など、「できてほしい何か」が十分にできていない状況の子に、できる方向へ歩んでほしいと願うとき、私たちは、その子に様々な声をかけます。いたわり、なぐさめ、叱咤、激励、指摘、叱責…。

そういうとき、「どうしてできないの!」など、「できない」と断じてしまう言葉からは、相手への否定が伝わってしまいます。その子の成長への期待があったとしても、それは伝わりにくく、むしろ見放されたという断絶のメッセージすら伝わりかねません。

一方「にがてだね」という言葉には、どこか温もりがあります。その人の状況を理解し、共に考えようとする、共感と励ましのメッセージが伝わります。

「君は『できない』んじゃないんだよ。そのことが、少し苦手なだけなんだよ」

「そうか、ほくは、『できないだめな子』じゃないんだ。ただ、苦手なだけなんだ。ドッチボールが苦手なように、ちゃんと座っていることが、苦手なだけなんだ。」

こういう感覚を、その子自身と、周囲の仲間や大人が共有できるとき、そこは誰にとっても優しい空間です。お互い違うことへの理解や共感、異なる他者と折り合って生きる力、その子自身の自己肯定感が培われるのは、そういう場所ではないでしょうか。

(教育推進課 家庭教育担当)